キャリアデザイン２

２年　　前期　　必修　　２単位

【※学年、必選、単位は、学科、入学年度等により異なる場合があります。必ず履修の手引きで確認してください。】

担当教員：　平塚・山口・高橋・田中・佐原・金・土谷・初見

教育目標：　社会人ならほとんどの人が人生の大半の時間を占める「仕事」について。自分で「決め」、自分で進め「行動し」、自分で「高める(学習力)」ための考え方を理論とワークセッションを組み合わせながら進める。
「自分を知り」「社会を知り」「働く場を知る」ことを通じて自分の気づいていない可能性を広げ、同時に「ありたい自分」へのアプローチへの起点とする。

授業計画

No.	項　　目	到　達　目　標
第１回	イントロダクション	この授業の目的を説明できる。 一年次の振り返りとセルフグロースシートの作成ができる。
第２回	二年次の目標を考える	この一年をいかに有効活用するか。「自ら決めて・自ら進めて・自ら高める」計画策定ができる。
第３回	「働く」ことの意味を考える	・ライフプランとキャリアプランについて「キャリアを考えるとは」について説明できる。 ・ライフロールレインボーについて説明できる。
第４回	自己理解を促進する①	「自分取扱説明書」の作成を通じて自らの特徴やポイントの再認識を図る 自らのパーソナリティを多角的に説明できる。
第５回	自己理解を促進する②	ライフラインチャート→自分の人生曲線を作成し、過去の人生を振り返る ・「＋」と「－」のエピソードから、自分のモチベーションのありかを探る
第６回	自己理解を促進する③	・自己分析と仕事を結び付ける。 ・職業興味検査を実施し、現在の自分の興味領域を把握する。
第７回	社会理解を促進する①	世事に関心を持ち、情報収取を習慣化する。 ＊ゲストスピーカーより「新聞の読み方」についての話を聴く。 (合同授業)
第８回	社会理解を促進する②	時事問題についての理解と主張ができる。 ディスカッションによる意見のかみ合わせができる。
第９回	「働く場」についての理解促進①	身近な人への「仕事インタビュー」を通じての仕事理解。 仕事の「やりがい」「厳しさ」を考える。
第10回	「働く場」についての理解促進②	職業連鎖。「コンビニが顧客に商品を提供するまでの仕事いろいろ」を説明できる。(グループワーク～ディスカッション)
第11回	「働く場」についての理解促進③	業種・業界を知る。(ＢtoＢの理解) 業界地図・地域の企業をベースに企業活動を理解できる。
第12回	「働く場」についての理解促進④	職種について。(同じ「職種であっも違う働き方や成果責任がある」) (自分がイメージできる仕事について考察できる)
第13回	社会人として必要な能力を考える	・各企業の求める人物像から、社会で求められる能力を探る。 ・社会人基礎力について考察することができる。
第14回	ビジョンメイキング	・将来のワークライフをイメージし、ハッピーライフをデザインすることができる。そのためのロードマップを考える。
第15回	前期の振り返りと後期に向けての目標設定について	セルフグロースの進捗確認。この授業での学びをベースとしての目標の修正ができる。
試　験		試験は実施しない。

準備学習：　仕事・キャリア・自己分析等に関連する参考書を読み、事前学習を毎回行うこと（90分程度）。
各回の講義で学んだ内容を整理し、復習を毎回行うこと（90分程度）。

評価方法：　毎回終了時に提出のリフレクションシートの充実度(60)
数回にわたるワークシートの充実度(20)
セルフグロースシートに対する取り組み具合(20)

テキスト：　授業で随時テキストを配布

備　　考：　・各回の授業が関連していますので、すべての授業に参加すること
・複数回の授業で事前課題を課します。